

ピーター・ウェイン・ルイス - キャリア・ナラティブ

ピーター・ウェイン・ルイスは、アフリカとヨーロッパの抽出物の典型的なジャマイカの親子関係のキングストン、ジャマイカで生まれました。彼は1962年に両親と共にカリフォルニア州サクラメントに移住し、そこで彼と家族はサクラメントのアフリカ系アメリカ人コミュニティの一員となり、部外者であるという認識にも苦しんでいました。ピーターは1983年にアメリカ市民になりました。カリフォルニア州サンノゼ州立大学で絵画の修士号を取得し、ボストンのマサチューセッツ美術デザイン大学で25年間絵画教授を務め、学科長を務めました。彼は野心的なスタジオプラクティスを維持し、ニューヨークメトロエリアと中国の北京の間で時間を分割し、オアシスギャラリー北京のディレクターでもあります。

ピーターの影響は、彼の初期の魅力から日本の版画、音楽への生涯の関心、ジャズピアニストの父親の遺産、カリブ海とカリフォルニアの折衷的な文化的環境に至るまで、彼のDNAと同じくらいグローバルです。最近では、理論宇宙論と量子物理学、特に弦理論、特に仏が僧侶を演じるシリーズで、彼の作品を新しい領域に押し上げた概念に興味をそそられるようになりました。彼の広大な抽象言語は、自発性と正確な制御の間のバランスを交渉します、構造と混乱の間で、光と暗いと色と色なし - 強烈な知的および視覚的な経験を提供するアマルガム。

ピーターはアメリカ、アフリカ、カリブ海、ヨーロッパ、アジアで幅広く出展してきました。最近の個展は、DE州ウィルミントンのデラウェア・コンテンポラリー(2019-2020年)、UCCA - 北京のウレンス現代美術センター(フィリップ・ティナリ、2016年)、MOCA-ノースマイアミ(2015年)、3大陸のギャラリー展、北京のスタジオで制作された絵画の調査が含まれています。Hは、アメリカ国内外の数多くの公的および私的なコレクションに含まれている作品です。

個展:(2019/20) 北京ブースター絵画、デラウェア現代、ウィルミントン、DE;(2019) 曲げ時間画 - キングストンから北京へ、レッドゲートギャラリー、北京、中国;(2016年) ブースター、キュレーター: フィリップ・ティナリ、ウレンス現代美術センター (UCCA), 北京, 中国;(2015) ブースター絵画, 現代美術館 - 北マイアミ, フロリダ州; 脳の絵画, スコトギャラリー、NYC;(2014) 時間的絵画, ジェイジェイ, サクラメント, CA;(2013) 中地球4の絵画、ニューヨーク州スコトギャラリー、アメリカ人アーティストピーター・ウェイン・ルイス、北京アメリカンセンター (BAC) 北京、中国; 弦楽、マティアス・クペルギャラリー、シュトゥットガルト、ドイツ;(2012) 中地球の絵画 第3部、プロモーションアルテ、東京、中地球の絵画 Part 2, マティアス・クパーギャラリー、北京、中国;(2011) 中地球の絵画パート1、ジェイジェイ、サクラメント、カリフォルニア州;(2009) 絵画、プロモアルテ、東京、日本;(2008) ブースター絵画, ギャラリー・イム・コルドンハウス, チャム, ドイツ; グランド: ブースター絵画, ジェイジェイ, サクラメント, CA;(2003) ストリングス、ローゼンバーグ+カウフマンファインアート、ニューヨーク州; 絵画, ステラ・ジョーンズ・ギャラリー、ニューオーリンズ, LA;(2002) (ソロ) ドリームペインティング, 教区ギャラリー, ワシントンDC;(2000) フィールズ, ローゼンバーグ+カウフマンファインアート, NYC (デビッド・キャリアによるエッセイ付きカタログ);(1998) ヴィエヒタツノ/ニューヨーク、ギャラリーウェーバー、ヴィエヒタツハ、ドイツ;(1997) レプリカント、ローゼンバーグ+カウフマンファインアート ニューヨーク;(1995) ブラックスワンスイート、フレデリックスプラットギャラリー、サンノゼ、カリフォルニア州; ブルーとブラックスワンスイートコレクション, 教区ギャラリー, ワシントン DC; ブルースワンスイート絵画, ローゼンバーグ+カウフマンファインアート、ニューヨーク州(1994) シュメール語別れの絵画、フレデリックス

プラットギャラリー, サンノゼ, カリフォルニア州;**(1993)** スタンムディッシュ 絵画、クンスト
ラウム、シュトゥットガルト、**(1992)** 絵画、クンストハウス・オスバイエルン、ベトナム、ドイ
ツ(カタログ); 絵画の実体、フォン & スプラットギャラリー, サンノゼ, CA;**(1990)** 紙の作品、ク
ンストハウス・オストレバ, ヴィエヒタッハ, ドイツ; 紙の上で作品, D.P. フォンギャラリー, サン
ノゼ, カリフォルニア州;**(1988)** 絵画、ブルース・ヴェリック・ギャラリー、サンフランシスコ
、カリフォルニア州;**(1987)** 最近の抽象画像、モンレー半島美術館、モンレー、カリフォルニ
ア州;**(1986)** 絵画、サンノゼ美術館、サンノゼ、カリフォルニア州;**(1984)** 絵画、トリトン美術館、サ
ンタクララ、カリフォルニア州;**(1979)** 退廃と順列、サンノゼ州立大学、サンノゼ、カリフォルニ
ア州; 絵画、サンノゼアートセンター、サンノゼ、カリフォルニア州。

入選グループ展:(2023) パン・アフリカン現代美術:世界展、Pアフリカ遺産世界遺産の博物館、
ガーナ;**(2020)** カラーメモリ、レッドゲートギャラリー、北京、中国; 出エジプト記4、ホワイト
ボックス、ニューヨーク;**(2019)** 38度、レッドゲートギャラリー、北京、中国;**(2018)** 初回展ザミ
ューゼー黒人文明、ダカール、セネガル; リボーン・インスティテュート、中国北京のウレ
ンス現代美術センター(UCCA); 描かれた(オーバー)、ヴォイヴォディナ現代美術館(セルビア); 記
念碑ジェイジェイ、サクラメント、カリフォルニア州; ブラックに戻る、ノバサウスイースタン
大学、フォートローダーデール、フロリダ州;**(2017)** 国際グループショー-盛盛中国北京国際ギ
ャラリー; セレクション2017、スコットギャラリー、ニューヨーク; ボストンを描くマサチューセ
ッツ工科大学ボストン校マスアート美術館;**(2016)** XVth ラテン・カリブ・コンテンポラリーア
ート、プロモ-芸術東京日本; レッドゲート・ギャラリーの25年、レッドゲートギャラリー、北
京、中国; リブート、ジェイジェイ、サクラメント、カリフォルニア州; マジック&リアリティ:ラ
テンアメリカとカリブ海現代美術、ミレニアム世界美術館、北京、中国(カタログ); 世界美術のツア
ー、中国美術館、上海、中国(カタログ);**(2015)** ドローマッピングの狂気、ダリ現代アートセンタ
ー、グチェン、中国大理(カタログ); アフロカリビアンアート、プロモ-芸術、東京、日本;**(2014)**
マッピング狂気、インサイドアウト美術館、北京、中国(カタログ); ラテンアメリカアート・トゥ
デイ、プロモ-芸術、東京、日本; ブラック&グレー、スコットギャラリー、ニューヨーク; マイクロ
アート展北京9階美術館(カタログ);**2014** 国際表現・抽象芸術展中国浙江省寧波市現代美術セン
ター(カタログ);**(2013)** 恐怖よりも強いのは希望、シュマルファス現代美術、ベルリン、ドイツ
;**4321** マティアスクッパーギャラリー、北京、中国;**(2012)** 第5回北京国際美術ビエンナーレ中国
国立美術館、北京、中国(カタログ); 国際展示会、インサイドアウト美術館、北京、中国(カタ
ログ);**(2011)** 選択11、スティーブD. ペインギャラリー、マサチューセッツ工科大学ボストン
;**20周年** 記念ショー、教区ギャラリー、ワシントン, DC; 国際紙アートショー、チョンシャン国立
美術館: 孫博士逸-セン記念館、台北、台湾; ダイアログス: ミキシング文化スルーアート、ペ
ルークスコ現代美術館、巡回展;**(2008)** 初回展、国際学芸員:ピーター・ウェイン・ルイス、サ
ンシャイン国際美術館、北京、中国; オリンピック美術2008、北京国際展示センター、中国; 主催:
国際オリンピック委員会(カタログ)、ジャマイカのキュレーター:ピーター・ウェイン・ルイス
。旅行: ティア・マオ寺院、紫禁城; マラソン、2つのラインギャラリー、北京、中国; ビエンナーレ
展、ジャマイカ国立美術館、キングストン、ジャマイカ;**(2007)** ジャマイカ・中国外交関係樹
立35周年、ガレリア オンサード、北京、中国(カタログ-"旅");**(2006)** 新しい所有物、島の独立:
ジャマイカ独立44周年のジャマイカ美術、アメリカ美術館、ワシントンDC(カタログ);**15周年**
記念ショー、教区ギャラリー、ワシントンDC; リズミカルなブラシワーク、ダンフォース美術
館、フラミンガム、MA。旅行: スカイライトギャラリー、ブルックリン、ニューヨーク; カールド
レラプアートギャラリー、プリマス大学、プリマス、NH; クラフトマンギャラリー、イサカカ

レッジ、ニューヨーク;シドニー・ミシュキン・ギャラリー、バルーク・カレッジ、ニューヨーク;クラーク大学ギャラリー、アトランタ、GA;**30周年記念&国立ビエンナーレ展**キュレーター:デビッド・ボクサー博士、ジャマイカ国立美術館、キングストン、ジャマイカ;**(2005/55)** 会議の新機能中央ヨーロッパ:光と影**2005-2055**,アートピラミッド,エスカルクム=スタシュリードドイツ,プロジェクトコーディネーター ステファン博士ノイマイヤー(カタログ);**(2005)**紙|パネル|キャンバス、ローゼンバーグ+カウフマンファインアート、ニューヨーク;**(2004)** ワンコンベンション、ローゼンバーグ+カウフマンファインアート、ニューヨーク;**セクション2004**、ステイブン D. ペインギャラリー、マサチューセッツ工科大学ボストン;ナショナルビエンナーレ、ジャマイカ国立美術館、キングストン、ジャマイカ;**(2003)** 不敵、ローゼンバーグ+カウフマンファインアート、ニューヨーク;**(2002)** 博覧会マグネット、ヤシンアートセンターダカールセネガル;**(2001/02)** 時間の満ち引きキュレーター:キャサリン・アミドン博士、ハワード大学、ワシントンDC(カタログ);**(2001)** 10周年記念ショー、教区ギャラリー、ワシントン, DC; **ドローイング展**,脇田博物館・イノクマジュニロー博物館,東京,日本;**(2000/02)** すぐに来る、キュレーター:博士。サメラルイス、ロウ美術館、コーラルゲーブルズ、フロリダ州(カタログ)。巡回展:ジョスリン美術館、オマハ、NBデポール大学アートギャラリー、シカゴ、イリノイ州;メトロポリタン州立大学デンバー校;フレミング博物館、バーモント大学バーリントン、VT;ニューオーリンズ美術館;**(2000)** ラテンアメリカとカリブ海の芸術,三浦美術館,松山,日本;**(1999)** ミルトン・レズニックに捧げ:画家画家、フレデリック・スプラット・ギャラリー、サンノゼ、カリフォルニア州(カタログ);ラテンアメリカのビジュアルスピリッツ、プロモ-芸術ギャラリー、東京、日本;**(1997/9)** ジャズを見て、スミソニアン研究所、ワシントンDC(書籍)。旅行:ジャズ博物館,ニューヨーク;ウエスタンギャラリー、ベリンガム、ワシントン州;マンソン・ウィリアムズ・プロクター美術館、ユティカ、ニューヨーク;ハンター・ミュージアム・オブ・アメリカン・アート、チャタヌーガ、TN;ハンティントン美術館;サウスウエスト博物館、ミッドランド、テキサス州;**(1997)** 種類の一つ、ローゼンバーグ+カウフマンファインアート、ニューヨーク;**(1995/98)** カリブ海のビジョンキュレーター:サレツラ・ルイス博士、スミソニアン研究所、ワシントンDC(カタログ)。旅行:マイアミ美術館,FLニューオーリンズ美術館,LA;アフリカ系アメリカ人博物館、ダラス、テキサス州;ミドルベリーカレッジ美術館、ミドルベリー、VT;ワズワースアテネウムハートフォード、CT;ラテンアメリカ美術館、ロングビーチ、CA;**(1995)** 東海岸-西海岸、フレデリック スプラット ギャラリー,サンノゼ,カリフォルニア州;**(1994)** ラテンアメリカ・カリブ海ビエンナーレ,ドミニカ共和国 サントドミンゴ近代美術館(カタログ);**(1993)** 第10の夏、ローゼンバーグ+カウフマンファインアート、ニューヨーク;**(1991)** パシフィック・リム・アート・ナウ,小樽市立博物館,札幌市(カタログ);**(1990)** アートドキュメント '90,北海道近代美術館 札幌市(カタログ);**ポジティブ・アクション/ビジュアル・エイド**ニューヨークの時計塔ギャラリー、現代美術研究所;ピーター・ルイス/ケリー・デトワイラー,アメリカンセンター,札幌,日本;**教員展**、ウォルター/マクビーンギャラリー、サンフランシスコ美術館、サンフランシスコ、カリフォルニア州;**(1985)** 西洋の新しい芸術、ボルパルギャラリー,サンフランシスコ,カリフォルニア州;**(1984)** 絵画、ファクトリープレイスギャラリー、ロサンゼルス、カリフォルニア州;**(1979)** ギャラリー'79、トリトン美術館、サンタクララ、カリフォルニア州;

教育:

サンノゼ州立大学、カリフォルニア州芸術学修士号(1979);サンノゼ州立大学、カリフォルニア州芸術学士号(1976)

講義:デラウェア・コンテンポラリー、デラウェア州、MD;UCCA- 中国現代美術センター北京; ニューヨーク大学ニューヨーク校 - クインシー・トルーペ・ルネッサンス誌;米国大使館,北京, 中国文化部(カタログ:中国におけるアメリカの視覚芸術);ドリュー大学, マディソン, ニュージャージー州;マサチューセッツ大学ダートマス校プラット研究所, ニューヨーク州;マサチューセッツ工科大学(マサチューセッツ)芸術デザイン大学シラキュース大学、 ニューヨーク州;アメリカセンター札幌, 日本;カリフォルニア大学バークレー校;サンフランシスコアート研究所、カリフォルニア州;サンノゼ州立大学, カリフォルニア州

キュレータープロジェクト:(2018) 白い不安、ホワイトボックスハーレム、NYC;(2014) 視点: 20年 アダリー, マスアート美術館, マサチューセッツ工科大学ボストン, マサチューセッツ州;(2013) 4321, マティアス・クペルギャラリーシュトゥットガルト / 北京, 北京, 中国;(2012) 北京ビエンナーレ、中国国立美術館 (NAMOC), 北京, 中国; 中国・北京・中国・インサイドアウト美術館(IOAM)国際アーティスト展(2008)中国・北京コンベンションセンターオリンピック美術展 グランドオープン サンシャイン国際美術館 北京, 中国; マルーンズの女王ナニー, ジャマイカ大使館と一緒に, 二つのラインギャラリー, 798地区, 北京, 中国; 香水絵画、2つのラインギャラリー、798地区、北京、中国; ボストンハイティール#2 マスタープリント+マサチューセッツ大学芸術財団、2つのラインギャラリー、798地区、北京、中国と一緒に。 マラソン、二線ギャラリー、798地区, 北京, 中国

賞品と栄誉: (2011) アートスコープ、ニューイングランド文化誌に選別;(2008) 批評家のピック, サクラメント・ビー;金メダル、オリンピック芸術2008年国際オリンピック・コミエe、国際展示センター、北京、中国;(1991) ペニンシュラ誌の最優秀新人アーティスト(1984) KQED アート賞展, サンフランシスコ近代美術館, サンフランシスコ, カリフォルニア州; 批評家の選択, ドロシー・バークハート, アートセクション, サンノゼマーカーキュリーニュース;ベスト・イン・ショー賞, メンバーズ・エキシビション, サンノゼ・アート・センター, サンノゼ, CA.

専門の所属: (現在)マサチューセッツ工科大学ボストン校名誉教授;中国・北京、オアシスギャラリーディレクター、ニューヨーク州ハーレム ホワイトボックス アドバイザリーボードディレクター(過去)ディレクター、2つのラインギャラリー、北京、中国;ボストンのマサチューセッツ工科大学美術学部長2D美術部門会長;非常勤教授:プラット研究所、ニューヨーク;シラキュース大学、ニューヨーク;カリフォルニア州バークレー.C;カリフォルニア州サンフランシスコ美術館;サンノゼ州立大学, カリフォルニア州.